

神奈川県スノースポーツの歴史

(10年史)

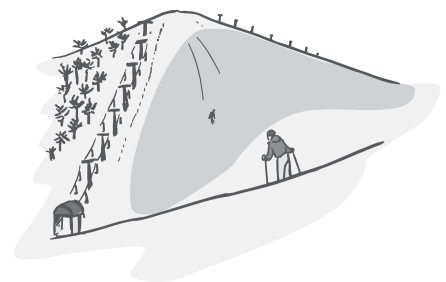
財団法人として実質的な運営を行ったこの10年でした。法人移行の良さが随所に出たと思われます。事業運営の充実を図るため、理事定数は25名（監事含め27名）をマックスとし、意見反映の場である評議員会の定数を50名まで引き上げ、運営してまいりました。その中において、経済状態は悪化の一途をたどり、バブル崩壊、低経済成長時代へと突入し、更には100年に一度という世界経済同時不況と重なり、私たちの生活様式が一変するに至りました。

時を同じくして、地球温暖化が社会問題化し、雪不足で事業の開催への影響が出始め、連盟としても小さなことから、出来ることからこの問題に取り組みを始めた時代でもあり「スキー環境」としては大変な厳しさを余儀なくされることとなりました。

経済情勢の変化はいつの時代でも起こりうる問題で、大切なのは社会動向を見極めながら運営・事業改革を




進め「会員」のための組織に徹することが重要と確信し、その実行を進めてまいりました。

未だ「道半ば」が実感であります。70周年の節目として整理し、更なる「雄飛」へと会員・加盟団体・所属団体・協賛会員と共に歩を進めたいと決意した時代であったといえます。



神奈川県スキー連盟の出来事	このころの出来事
<p>1999年度(平成11年6月～12年5月)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●理事定数25名(監事含め27名)、評議員50名に寄付行為を変更(1999年7月9日県教育庁認可日) ●創立60周年記念事業が催される 1999.10 <p>県スキー連盟創立60周年記念式典及び祝賀会が、10月10日横浜駅前のベイシェラトン&タワーズで開催された。</p> <p>式典は、河野会長代理井出氏のあいさつから始まり、来賓のSAJ教育部長丸山庄司氏の祝辞の後、山田専務理事から法人化からのこの10年間の連盟の歩みを報告した。引き続き、功労者の表彰、協賛会員に感謝状の贈呈が行われ、功労者表彰は横浜スキー協会の相澤重明氏と法人化の立役者である柴田伸彦氏、優秀選手は国体優勝の大森陸弘選手に、協賛会員は信州総合観光開発の山崎和雄代表取締役が贈られた。そして、記念講演として、長野オリンピックノルディック複合で大活躍した、荻原兄弟の荻原次晴選手の楽しい講演会が行われ、多くの参加者に爽やかな感銘を与えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ハンディキャップ委員会を設置 <p>「生涯スポーツとしてのスキー」への取り組みの一環として、全国に先駆けてハンディキャップ委員会を総務本部に設置し、各種大会や行事に障がいを持つ方々がハンディキャップを感じることなく参加できる体制づくりの検討を開始した。</p>	<p>だんご3兄弟、ヒット</p> <p>4/7 西武、松坂大輔デビュー</p> <p>9/30 東海村核燃料施設で臨界事故</p> <p>3/4 ソニープレイステーション2発売</p>
<p>2000年度(平成12年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●松浦益司郎元SAJ副会長 ご逝去 ●第1回障がいをもつ人のためのスキー教室開催 2001.1 <p>前年より、県連内部にハンディキャップ委員会を設立し、障がい者のスノースポーツへの参加について、教育・競技両本部との検討を重ね、1月の五竜。行事の中で受講者17名、指導者45名の参加を得て、初の開催となった。</p>	<p>8.18 三宅島噴火</p> <p>9.15 シドニーオリンピック開催</p> <p>11.11 イチロー、シアトル・マリナーズ入団決定</p>



神奈川県スキー連盟の出来事	このころの出来事
<p>2001年度(平成13年度)</p> <p>●第1回神奈川県・千葉県スキー技術選手権大会を開催 2002.1.25～27 車山高原スキー場で、千葉県と合同でスキー技術選手権大会を開催した。これは①硬いバーンで全日本技術選手権大会の予選となる県技術選を行いたい。②千葉県と県技術選の段階で他県の選手の滑りに触れ、マンネリ化を防ぎ技術的活性化を図りたい。千葉と神奈川県とのニーズが一致したこと、古くからの南関東ブロックでの交流が下地となり実現に至った。</p> <p>●第1回環富士山スキー技術選手権大会開催 2002.3.9～10 富士山を囲む4県(山梨、静岡、千葉、神奈川)でスキー技術を磨こうと企画立案したもので、当時画期的といわれた事業だった。</p> 	<p>4.26 小泉内閣発足、外相は田中真紀子</p> <p>6.9 大阪で小学校児童殺傷事件 8人死亡</p> <p>9.11 米で同時多発テロ、貿易センタービルに旅客機激突</p> <p>2.9 ソルトレイク冬季オリンピック開幕</p>
<p>2002年度(平成14年度)</p> <p>●スノーボード委員会が発足 2002. これまで、教育・競技両本部に分散していたスノーボード専門員をスノーボード委員会として統合し、独立した委員会にした。</p> <p>●第1回チャレンジカップ3戦を車山・岩岳スキー場で開催。 2002.12～2003.4 競技会をオープン化して、競技会参加者のすそ野を広げる狙いから、これまでのチャンピオンシップとは別に、より広い参加者を募る形式のチャレンジカップをシーズンの初めと真ん中と最後に開催し、総合優勝も争えるシリーズ戦とした。</p> 	<p>6.30 サッカーW杯、ブラジル5回目の優勝</p> <p>2.1 米スペースシャトル「コロンビア」着陸寸前に空中分解、7人死亡</p> <p>3.20 米英軍によるイラク攻撃開始</p>
<p>2003年度(平成15年度)</p> <p>●活性化委員会による検討を開始 2003.4.22 前年10月に理事会で提案された「低迷するスキー界を活性化するための普及プロジェクト」を具現化するもので、理事会からの諮問事項は「低迷するスキー界にあって、潜在的なスキーヤーの掘り起こしを行う」「SAKの組織に新風を吹き込み、各事業を活性化する」の2つ。委員長には、竹腰誠教育専門委員が選出され、以降5回の委員会で検討の結果6月30日に「スノースポーツの活性化について」と題して、ジュニア、マスターズ世代、女性、教育・競技本部、活性化検討の継続に関する提案を含んだ答申がなされた。</p>	<p>4.9 イラクの首都バグダッド陥落</p> <p>1.13 鳥インフルエンザ、山口養鶏場全鶏処分</p> <p>2.11 BSEの影響で吉野家牛丼休止</p>
<p>2004年度(平成16年度)</p> <p>●「冬ソナ」で人気の韓国ドラゴンパレススキー場で海外スキーツアー第2段を実施。 2005.2.3～6</p> 	<p>5.22 小泉首相訪朝、拉致被害者家族5人が帰国</p> <p>7.3 ウインブルドン選手権でシャラポワ初優勝</p> <p>8.14 アテネオリンピック開幕</p> <p>10.2 イチロー史上最多259安打</p> <p>10.23 新潟県中越地震</p>
<p>2005年(平成17年度)</p> <p>●普及振興委員会発足 2005.7.28 2003年の活性化委員会答申に従い、「普及振興事業の参加募集ルート開拓」と「ジュニア事業の企画運営」を目的として、学校職員や市役所職員を中心としたメンバーが選出され、青木文明氏が委員長に選出され、早速翌年3月25～27日に「ジュニア雪とのふれあいツアー」を企画、75名の参加者を得て実施された。</p> <p>●SAKだより発刊第50号記念 創刊者中村孝元理事にインタビュー。</p> 	<p>4.25 JR福知山線脱線、死者107人</p> <p>8.16 宮城沖地震</p> <p>9.11 小泉首相の郵政解散による衆議院選挙で、自民党大勝「小泉劇場」</p> <p>2.23 トリノ冬季オリンピックで荒川静香、フィギュアスケート日本人初金メダル</p> <p>3.21 WBCで王ジャパン世界一</p>
<p>2006年度(平成18年度)</p> <p>●全国初!準指検定に単位制導入</p> <p>●会員数が6000人を割り込み、準指検定受検者160人以下で財政圧迫。</p>	<p>9.6 秋篠宮妃紀子様、男児ご出産</p> <p>3.27 北島康介、世界水泳200m平で金</p>

神奈川県スキー連盟の出来事	このころの出来事
<p>2007年度(平成19年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●競技本部、いじめ、環境問題に取り組む。 ●木田江里乃選手、長野国体アルペン5位入賞。 	<p>5.20 石川遼15歳で世界最年少V</p> <p>8.1 朝青龍サッカー問題で2場所出場停止</p>
<p>2008年度(平成20年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●新潟国体で、ノルディック田村真理選手、3位入賞!女子ノルディックで初の表彰台。アルペンの木田江里乃選手は昨年に続き4位入賞を果たす。皇后杯7位。 ●競技本部は、ジュニアを対象とした一貫指導体制・サポート体制構築に向けて取り組む。「神奈川県ジュニアアルペンスキー 一貫指導マニュアル」を発行 ●競技本部は、4大会からスーパーGを廃止して3大会に。会場を上越国際から鹿沢へ変更した。 	<p>北京オリンピック</p> <p>9.15 リーマンブラザース破たん 世界恐慌</p>
<p>2009年度(平成21年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●創立70周年記念事業が催される 2009.10 <p>県スキー連盟創立70周年記念式典及び祝賀会が、10月3日横浜ベイシェラトン&タワーズで開催された。</p> <p>協賛会員への感謝の会と優秀選手・功労者表彰の式典がそれぞれの会場で行われた後、祝賀会が開催された。</p> <p>祝賀会は、河野会長のビデオレターによるあいさつ、伊藤義郎SAJ会長の祝辞などに続いて、片専務理事から連盟のこの10年間の歩みの報告があった。続いて、河野太郎新会長からは、アメリカ留学時代におけるノルディックスキーの経験などを織り込みながら、就任のあいさつがあった。4つのスキー場から届いた地酒の鏡開きの後は、直前に行われた式典の映像と表彰者の紹介、また、映像や音楽をふんだんに取り入れたこれまでにない手法による県連10年史の紹介、プロ歌手(Hanna)による歌唱などがあり楽しい時間が流れて行った。</p>	<p>8.30 衆議院選挙で民主党が圧勝。政権交代となる。</p> <p>9.16 鳩山内閣発足</p>



おわりに

幾多の困難を乗り越え、(財)神奈川県スキー連盟の発足(昭和14年)に携わった先輩諸兄に敬意を表し、その精神「スノースポーツは楽しい」をもう一度噛み締め、更なる「歩み」の歩を進めようではありませんか。70周年おめでとうございます!!